

斜面对策により鉄道の安全・安定輸送を守る (宮崎県等)

事業者：九州旅客鉄道株式会社

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策名：No.147 豪雨による鉄道隣接斜面の崩壊に関する緊急対策

事業名：鉄道施設総合安全対策事業（豪雨対策）

- **ポイント** ● 3か年緊急対策事業による補助金を活用し、斜面補強（法面防護工）を実施
- 令和2年7月豪雨では、対策箇所における土砂流入等による被害なし

地域の概要・課題

JR九州日豊本線は、小倉駅から大分駅や宮崎駅を経由し、鹿児島駅までを結ぶ路線であり、九州東部を縦貫しています。

平成29年台風第18号では、土砂流入等による被害が発生し、約3か月間運転を見合わせました。

事業の概要

本事業は、鉄道に隣接する斜面の崩壊等による鉄道施設への被害の未然防止や拡大防止を行うことにより、列車の安全輸送及び安定輸送並びに鉄道利用者の安全確保を図るものです。

3か年緊急対策では、平成30年7月豪雨を踏まえ、利用者数が多い線区等を対象に、鉄道隣接斜面の緊急点検を行い、豪雨により崩壊の恐れがあると判明した斜面に対して、法面防護工等の緊急対策を実施しており、JR九州日豊本線でも対策を実施しています。

効果

令和2年7月豪雨において、対策箇所では土砂流入・盛土崩壊等による被害はありませんでした。



位置図（★：主な対策完了箇所）

主な対策完了箇所（JR九州日豊本線）

- ① 南日向駅～美々津駅間の一部
- ② 南日向駅～美々津駅間の一部
- ③ 大隅大川原駅～北永野田駅間の一部
- ④ 北永野田駅～霧島神宮駅間の一部